高品質スキャニングサービス

書類電子化
スキャンPro

業界別導入事例資料

スキャンPro







CASE STUDY 01 製造業での導入事例

スキャンPro

完成図書の電子化で 「探す時間」と「属人化」を削減

現場で“使えるデータ”を作ることが目的です

BEFORE

PROBLEM

よくあるお悩み

- 古い完成図書が紙で保管されている
  → 案件が増えるたびに、保管場所を圧迫してしまう、また紙の劣化も心配
- 図面を探すのに時間がかかる
  → 倉庫やキャビネットを何度も探す必要があり、1日数時間もかけて探すこともある
- 担当者しか場所・内容がわからない
  → 属人化が進んでしまい、担当者が退職や転勤・転職するリスクに対応出来ていない
- 将来の設備更新・引継ぎが不安
  → 過去図面が有効活用できておらず、ベテランから若手への引継ぎも心配

SOLUTION

エレキテルの対応

- A0までサイズ混在の図面を一括電子化
  → A4〜A0まで混在する完成図書を、まとめて電子化することが可能
- 折り・製本された完成図書もページ順を保持
  → 折りたたまれた図面や製本資料も、原本構成を崩さずに電子化可能
- 図番・工事名単位でフォルダ設計
  → 担当者に依存しない管理体制を構築できるように、データに最適なタイトル付与を行う
- 必要に応じてOCR加工にも対応
  → 図面番号・名称などの文字情報を検索可能に

AFTER

RESULT

導入後の変化

- 図面検索時間が大幅に短縮
  必要な時にすぐ取り出せる
- 複数拠点・部署で即共有
  クラウドやサーバーで一元管理
- 引継ぎがスムーズ
  属人化しない管理体制へ

CASE STUDY 01 | 製造業での導入事例

スキャンPro

導入効果 | 図面検索時間のビフォーアフター

図面を探す時間が、5人分で 年間500時間 減った。

1人あたり 1日 30分 → 5分（削減率 83%） ／ 図面検索の担当者 5名 にて算出

POINT　倉庫やキャビネットを何度も探していた時間が、クラウドから“すぐ取り出せる”時間に変わった。

1日あたりの図面検索時間（5名合計）

削減率 83%

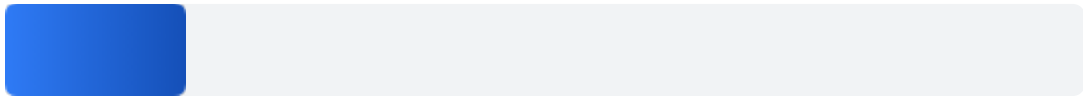
導入前

2時間30分



導入後

25分



この差 2時間5分 ／ 日

1人あたりでは 30分 → 5分（83%削減）

年間削減（5名合計）

500 時間

月間削減（20営業日）

41時間40分

営業日換算

約62.5営業日分

※ 図面検索の担当者5名・1日8時間勤務、1人あたり1日30分→5分、月20営業日・年240営業日で換算。※5名は実際のお客様のケースです。

CASE STUDY 02 化学メーカーでの導入事例

スキャンPro

契約書を裁断せずに電子化 原本を守りながらDXを実現

「非裁断でスキャンできない」「探すのが大変」を解決します

BEFORE

PROBLEM

よくあるお悩み

契約書は裁断できない
→契約書等は原本が必要なため、裁断できず手軽に電子化できないため紙保管が積み上がる

長期保管義務があり、原本管理が必須
→法令や社内規定により保管コストと管理負担が増え続け、整理整頓が追いつかない

契約条件をすぐ確認できない
→探すだけで時間が取られ、対応が遅れやすく担当者の負担になっている

監査・法務対応に時間がかかる
→監査や法務対応のたびに、必要書類の探索・準備が重く、業務が止まりがち

SOLUTION

エレキテルの対応

非裁断（非破壊）スキャンに対応
→ 契約書を裁断せず、原本を保持したまま電子化

原本を傷めない専用設備で電子化
→ 原本の状態によって最適な設備を選択

契約書特有の構成を考慮したデータ化
→ OCR加工の活用により、必要な契約条件を即時検索可能な形式にデータ化

セキュリティを重視した運用
→ 社外に流出しない安心安全な管理体制を構築

AFTER

RESULT

導入後の変化

原本は保管、業務はデータで
日々の参照業務で原本劣化を防ぐ

契約内容の検索・確認が迅速に
OCR加工で検索も可能に

法務・総務の業務負担を軽減
監査対応もスムーズに完了

CASE STUDY 02 | 化学メーカーでの導入事例

スキャンPro

導入効果 | 多言語の契約書を、1つの検索窓で

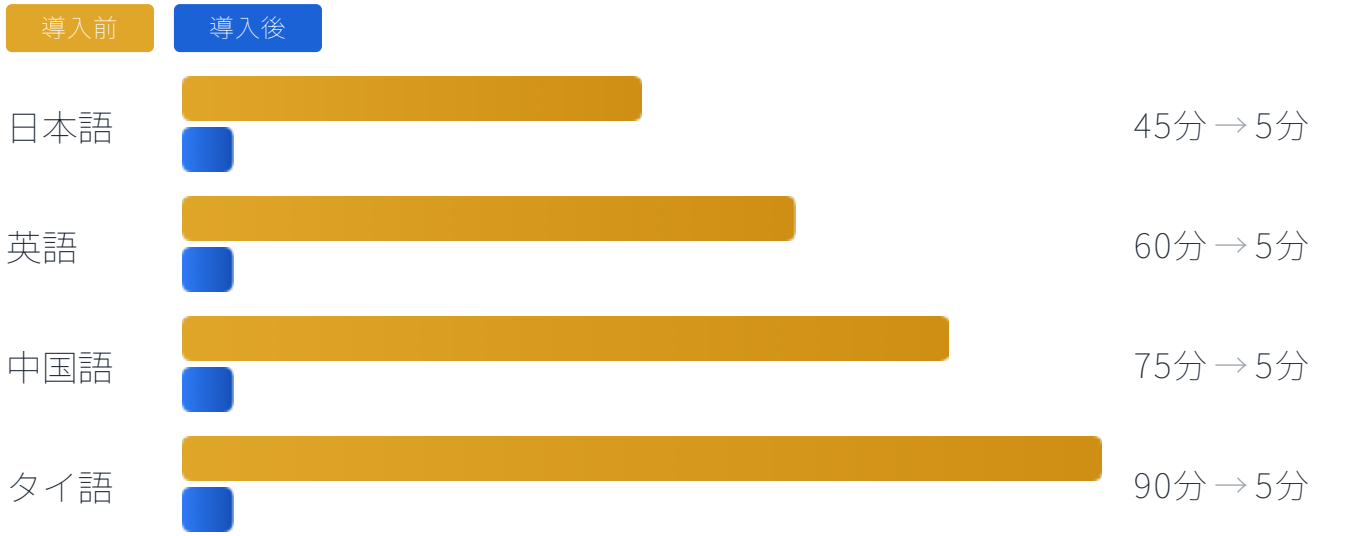
どの言語の契約書も、条件確認は5分。

日本語・英語・中国語・タイ語／月20件を基準に、年間250時間を削減

POINT　OCRで全文を検索できるため、裁断せず原本を守ったまま、言語を問わず契約条件にたどり着ける。

言語別・契約条件の確認時間（1件あたり）

導入前 45〜90分 → 5分



導入後はどの言語も同じ長さ（5分）に揃い、言語による差がなくなった。1件あたり62.5分の削減。

年間削減（月20件基準）

250時間

月間削減（月20件）

20時間50分

対象言語　**複数言語**

日本語・英語・中国語・タイ語／1つの検索窓
上記４言語以外の、その他複数ももちろん対応可能

※ 本ページの数値は、実際のお客様の例です。年間削減は62.5分 × 20件 × 12か月 = 250時間 で算出。

CASE STUDY 03 工事会社（電気・設備工事）での導入事例

スキャンPro

大判図面の電子化で 現場と事務所の情報格差をなくす

現場でも事務所でも“使える図面データ”を作ることが目的です

BEFORE

PROBLEM

よくあるお悩み

A1・A0図面が多く管理が大変
→ 保管場所を取るうえ、持ち運びも負担

現場で紙図面が傷む・汚れる
→ 長年にわたり、何度も開いて閉じてを繰り返すため、すでに劣化しており、現状保持も心配

複数人で共有ができない
→ 事務所でも現場でも図面を参照したい。特に図面を借りるときは、共有できないと非効率

過去案件を活かせていない
→ 同じような確認作業などを毎回繰り返している

SOLUTION

エレキテルの対応

大判図面専用スキャナで高精度読み取り
→ 細かな寸法や注記も判読できる品質を確保

図面の折り跡・劣化を考慮した補正
→ 古い図面でも実務に使える状態へ調整

案件・工事単位での整理
→ 現場・事務所どこからでも場所問わず参照可能となるようにデータを整備

将来の再利用を見据えた仕様設計
→ 過去図面を次の工事や改修時に活用できる構成

AFTER

RESULT

導入後の変化

タブレットで図面確認が可能
重い紙図面を持ち歩く必要なし

情報共有がスムーズ
現場と事務所の移動ラグを解消

過去図面を次の工事に活用
技術資産としてあらゆることに有効活用

CASE STUDY 03 | 工事会社（電気・設備工事）での導入事例

スキャンPro

導入効果 | 現場と事務所の「移動ラグ」をなくす

確認のために事務所へ戻る往復が75%減った。

7名合計で 月182時間 → 月42時間 ／ 年間1,680時間（約210営業日分）を創出

POINT　A1・A0の大判図面もタブレットでその場で確認できるため、重い紙を持ち歩かず、確認のためだけに事務所へ戻る必要がなくなった。

月あたり・現場で失っていた時間（7名合計）

合計 182時間 → 42時間

導入前　導入後



事務所への往復移動	112時間 → 28時間
図面の持ち出し・運搬	42時間 → 7時間
現場での図面探し・見直し	28時間 → 7時間

1人あたり 月16回 → 4回（1往復60分・片道30分）。持ち出し・探し直しは月8回。7名分を合算。

年間削減（7名合計）

1,680 時間

営業日換算（8時間勤務）

約210営業日分

現場に持ち出せる図面（サイズ問わず）

5枚 → すべて

タブレットなどで案件に関連する図面すべてを参照可能に

※ 本ページの数値は、実際のお客様の例です。年間削減は 140時間 × 12か月 = 1,680時間 で算出。

CASE STUDY 04 大学の先生・研究者での導入事例

スキャンPro

専門書・資料をデータ化し、「研究効率」を大幅に向上

「読むため」だけでなく“使うため”のデータ化

BEFORE

PROBLEM

よくあるお悩み

- **大量の専門書を気軽に持ち運べない**
  → 利用環境が限られ、作業が進まないことも多く、非効率
- **何冊も調べ直すのが大変**
  → 必要な情報を探すのに時間がかかる
- **どの本のどこに情報があるか探すのが大変**
  → 目次や付箋に頼った、アナログで非効率な作業
- **研究室でも自宅でも使いたい**
  → 研究室や自宅に資料が分散してしまう

SOLUTION

エレキテルの対応

- **書籍・資料の電子化に多数の実績**
  → 専門書・論文・研究資料など幅広い原稿に対応
  劣化した資料や薄紙原稿も丁寧に電子化
- **内容に応じて解像度を最適化**
  → 研究用途に耐えうる品質でデータ化
  AI活用にも最適なデータを作成
- **OCR加工で検索性を向上**
  → 必要な情報にすぐ辿り着ける環境を構築
- **個人利用にも配慮した対応**
  → 研究室・自宅など複数環境での利用が可能に

AFTER

RESULT

導入後の変化

- **必要な情報にすぐアクセス**
  検索機能でピンポイント発見
- **研究・執筆スピードが向上**
  コピペや引用がスムーズに
- **資料管理が圧倒的に楽に**
  本棚のスペース問題を解消

CASE STUDY 04 | 大学の先生・研究者での導入事例

スキャンPro

導入効果 | 研究・論文執筆スピード

論文1本あたり、調査と執筆準備が60時間短縮。

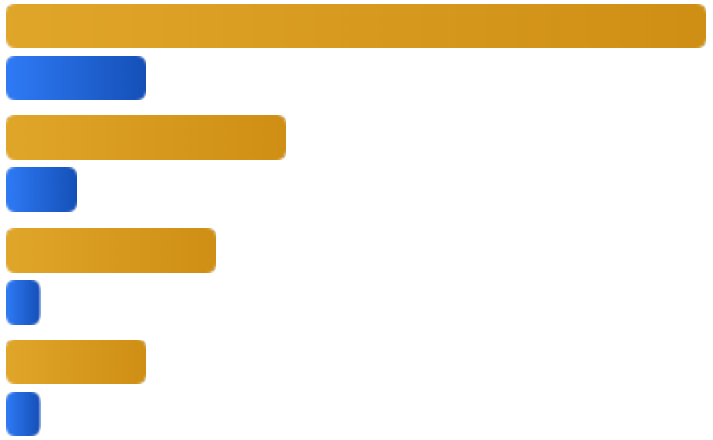
1本あたり 76時間 → 16時間（79%減） ／ 年間2本で120時間（約15営業日分）を研究時間に

POINT 専門書や資料が検索できるデータになることで、文献調査・出典確認・引用の貼り付けが短縮され、浮いた時間を考察と執筆そのものに充てられる。

論文1本あたりの作業時間（研究者1名）

合計 76時間 → 16時間

導入前 / 導入後



先行研究・文献調査	40時間 → 8時間
資料・書籍の探索	16時間 → 4時間
出典確認・引用整理	12時間 → 2時間
引用・貼り付け・整形	8時間 → 2時間

OCRによる全文検索で、目次・付箋・本棚をたどる作業が不要になった。1本あたり60時間の削減。

年間削減（論文2本）

120時間

営業日換算（8時間勤務）

約15営業日分

必要な文献にたどり着くまで

30分 → 3分

検索機能でピンポイント発見

※ 本ページの数値は、実際のお客様の例です。年間削減は60時間 × 2本 = 120時間 で算出。

About スキャンPro

サービスについてご説明



ABOUT SERVICE

スキャンPro

スキャンプロは”様々な業界・用途”で活用いただいています

スキャンProは、あらゆるすべての紙媒体を、用途に合わせた
業務で使いやすい形で納品するスキャニングサービスです。
業界・用途に合わせた”**オーダーメイド電子化**”を行っています。

一度きりの大量スキャン

倉庫整理、オフィス移転、ペーパーレス化プロジェクトなど、一括での電子化に対応します。

RECOMMEND

継続的な随意契約

毎月発生する契約書や図面など、定期的な回収・電子化フローを構築します。

特殊仕様・難案件

他社で断られた古い資料、特殊な製本、貴重な原本など、高度な技術で対応します。

現状の課題ヒアリングから、お見積り・テストスキャンまで無料で承ります。

スキャンPro